

令和6年2月14日(水)

10時00分～12時00分 会議室東

1 参加者紹介

2 校長あいさつ

3 報告 協議

(1) 本校の取組状況について

・進路状況

・オンリーワン等

○後継事業はどのようになっているのか？

→何らかの形で続けていきたい。現在県に請求中。

○県での評価は？

→財政当局でも良い評価をいただいている。

○医学科だけに優秀な人材がいくのはいかがなものか。他分野にも注力の必要があるのではないかと？

→医学科だけでなく文理ともに難関大学を目指す生徒を対象としている。

○高校DX化、DX人材育成についてどのように考えているか？

→県の新たな事業に現在申請予定である。

・部活動結果

・生徒課（自治・行事・交通安全等）

○交通事故の状況について具体的に知りたい。ヘルメットを義務化しては？

→学校周辺が発生場所としては多い。一旦停止不履行が原因としては顕著である。

ヘルメットに関しては義務化はなかなか難しいが、本校1年生については着用率は高い。

○退学する生徒はどのくらいか？ →今年度2人。

○伝統に固執することについて →生徒の中でも伝統に対する考え方が二分されている。

○いじめの認定はどのようになっているのか？ →いじめの防止等対策委員会を開きそこで審議されている。

・探究の様子（動画）

(2) 令和5年度学校経営報告書について

(3) 学校運営協議会委員より

○文理関係なく、基礎研究の面白さについて気付ける生徒を育成してほしい。

○本日の説明で、学校の苦勞がよくわかった。県の施策・地域・保護者の要望に応える努力が感じられた。

- 少子化、人口減少を考えた時、沼東も中高一貫校を目指してはいかがか。校舎新築においても配慮が必要。
- 学校経営計画において目標値をもう少し高くしてもよいのでは。先生方のメンタルヘルスにも注意してほしい。
- 新校舎建設にあたって、キャッチフレーズのようなものを作ってはどうか。
- 課題を見つける力・思考する力・創造力が大事であり、そのような生徒の育成を期待する。
- 一見無駄に見えることも一生懸命取り組む良さが、沼東生にはある。

4 その他

令和6年度の学校運営協議会委員について